E２ 本日の試合結果一覧

開催日 **2020/12/06**

2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 MEN

試合番号	167	試合会場	駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場	観客数	790
開始時間	14:00	終了時間	16:12	試合時間	02:12
主審	原　啓之	副審	浜野　陽一		

FC東京	通算	4 勝 10 敗 ポイント： 13	3			2	VC長野トライデンツ	通算	1 勝 13 敗 ポイント： 6
			25	第1セット	20				
			21	第２セット	25				
			22	第３セット	25				
			25	第４セット	18				
			15	第５セット	7				

監督コメント（FC東京）

２日間、非常に厳しい試合が続きましたが、ホームゲームということで、ファンの皆様のパワーをのおかげで連勝することができました。
この２試合、選手たちがあきらめることなくしっかりと戦い、続けてくれたことは、大きな収穫です。
ありがとうございました。

監督コメント（VC長野トライデンツ）

昨日のゲームの修正点を意識し、気持ちを切り替えて挑みましたが、同じ展開で負けてしまったのが非常に悔しいです。ミスの差や、勝負所の差が出てしまいました。
年明けのリーグに向けて、もっとレベルアップをして次は必ず勝ちます。
２日間応援ありがとうございました。

要約レポート

第１セット、FC東京はVC長野トライデンツのエース・リヴァンを徹底マークし、思うように決めさせない。５－０と幸先の良いスタートを切ったFC東京は、その後もプレモビッチのパワフルなスパイクなどでリードを保つ。VC長野は気迫ある笠利のスパイク、戸嵜の活躍でついていくが、途中出場のFC東京・長友がスパイクにサーブに躍動し、リードを広げる。VC長野は森崎がサービスエースで一矢報いるも、FC東京が押し切った。
第２セット、序盤は一進一退の攻防となり、ファーストテクニカルタイムアウト後、試合は動いた。VC長野が笠利のスパイクから４連続得点し、一歩抜け出す。対するFC東京は手塚、平田を投入し、その２人の活躍で詰め寄ったが、VC長野は中村のサービスエースを含む３連続得点を終盤にあげて逃げ切った。
第３セット、終始リードを保っていたのはVC長野。FC東京は逆転の一手を長友にかけ、見事その期待に応えブロックで得点。佐藤のサービスエースも決まり、逆転する。それでも集中力を切らさないVC長野は笠利、戸嵜のスパイクで再び逆転し、池田(幸)の絶妙なコースをついたスパイクがチャレンジ成功となり勝負あり。抜きつ抜かれつの見応えのあるセットだった。
第４セット、スタートから出場のFC東京・平田は本数こそ多くないものの、上がったトスは全て決め、ブロックでも得点し、勝負強さを発揮する。現在スパイク決定率１位の栗山も高い決定力でチームを牽引した。
第５セット、FC東京はプレモビッチの連続サービスエースで流れを掴む。玉宅のサービスエース、セッター手原のブロックも決まり、主導権を握ったままホームゲーム２連勝を飾った。

試合番号	168	試合会場	日本製鉄堺体育館	観客数	377
開始時間	13:00	終了時間	14:58	試合時間	01:58
主審	山本　和良	副審	國頭　亮太		

堺ブレイザーズ	通算	7 勝 7 敗 ポイント： 21	3			1	大分三好ヴァイセアドラー	通算	0 勝 14 敗 ポイント： 3
			25	第１セット	19				
			21	第２セット	25				
			25	第３セット	18				
			25	第４セット	22				
				第５セット					

監督コメント（堺ブレイザーズ）

（キャプテン：高野 直哉）
今日も第１セットの出だしは良い立ち上がりで取ることができました。サイドアウト率を上げることを意識して、修正点も整理して臨むことができました。
第２セットは取られてしまいましたが、第３、第４セットと自分達のバレーを展開し、良い形で年内のリーグを終えることができました。
ホームでの応援、ありがとうございました。

監督コメント（大分三好ヴァイセアドラー）

両サイドのスパイカーに対してマークを厚くしてくることが予想されたので、様々な工夫をしてゲームに挑みました。
スタートは悪かったものの、途中出場の井口、古賀がチームに勢いを与えてくれ、リズムをとり戻しましたが、勝ちきることができず悔しい思いです。
常に勝利を目指して、地道にやるしかないと思います。
本日も応援ありがとうございました。

要約レポート

昨日フルセットの激闘を見せた、堺ブレイザーズと大分三好ヴァイセアドラーの戦い。
第１セット、堺はキャプテン高野のサービスエースで流れに乗ると要所で樋口、ジョンのスパイクが決まり得点を重ねた。大分三好もリベロ松尾を中心に全員でバクナス、勝につなぎ、得点を重ねるが、勢いに乗る堺はリリーフサーバーの山口がサービスエースを決め、セットを取った。
第２セット、大分三好は第１セット途中から出場の古賀がサービスエースやスパイクを要所で決める活躍で得点を重ねた。堺は高野のスパイクやブロックで追い上げを見せるが、大分三好は終始リードしたままセットを取り返した。
第３セット、序盤から、堺は出来田、松本の両センターのスパイクが、大分三好はバグナス、勝の両エースのスパイクが要所で決まる。お互い一歩も譲らないシーソーゲームを展開したが、堺は関田のサービスエースやブロックで勢いに乗ると、最後は高野のスパイクが決まり、このセットを取った。
第４セット、後の無くなった大分三好は、バグナスのスパイク等でリードするが、堺は高野のサービスエース２本を含む７連続得点で勢いに乗ると、一気に逆転に成功し、樋口のブロックや高野のスパイクで得点を重ね、最後は樋口のスパイクが決まり勝利し、年内最後のリーグ戦を勝利で飾った。

試合番号	169	試合会場	広島グリーンアリーナ（広島県立総合体育館）	観客数	1,910
開始時間	12:03	終了時間	13:23	試合時間	01:20
主審	千代延　靖夫	副審	グレッグ　ルーオー		

JTサンダーズ広島	通算	7 勝 7 敗 ポイント： 23	0			3	パナソニックパンサーズ	通算	11 勝 3 敗 ポイント： 32
			21	第１セット	25				
			16	第２セット	25				
			20	第３セット	25				
				第４セット					
				第５セット					

監督コメント（JTサンダーズ広島）

昨日の反省点であったプレーの精度を高めて得点を決めるということが、大事な場面で取りきれなかったと思います。
年内のVリーグは終了しましたが、天皇杯に向けて良い準備をして臨みたいと思います。
２日間広島グリーンアリーナへお越しいただいたファンの皆様、ご声援ありがとうございました。

監督コメント（パナソニックパンサーズ）

昨日と同じく、とても大事な試合でした。
チームが一つになり、落ちた時も仲本選手がエネルギーを上げてくれ、彼の影響でみんなも良くなりました。
兒玉選手はコートに入る機会が少なかったですが、最初から活躍してくれたと思います。
天皇杯で優勝するために頑張りますので、応援よろしくお願いいたします。

要約レポート

第１セット、JTサンダーズ広島は八子がアタックやブロックを決めると、パナソニックパンサーズも久原、兒玉のアタックで応戦して１点を争う展開となった。中盤にパナソニックが、渡辺のアタックや兒玉のブロックで少しずつリードを広げていくと、その流れを維持し、最後は大竹が強烈なアタックを決めてセットを先取した。
第２セット、パナソニックが渡辺、久原のアタックなどでリードを大きく広げていく。JT広島は流れを変えようと合田、金子を途中から投入し、ここから山本のアタックや金子のブロックで追い上げをみせる。しかし、パナソニックは途中出場の仲本がアタックやサービスエースを決めて一気に引き離し、最後も仲本が強烈なアタックを決めてセットを連取した。
第３セット、後がないJT広島はリベロ井上(航)の好レシーブから武智がアタックを決めて粘りをみせるが、パナソニックは仲本のブロックや渡辺のアタックなどで少しずつリードを広げていく。その後も渡辺、仲本のアタックなどで得点を重ねてリードを保ちながら、最後は大竹が強烈なアタックを決め、パナソニックが勝利した。

試合番号		試合会場		観客数	
開始時間		終了時間		試合時間	
主審		副審			

	通算	－ 勝 － 敗 ポイント： －						通算	－ 勝 － 敗 ポイント： －
				第１セット					
				第２セット					
				第３セット					
				第４セット					
				第５セット					

監督コメント

要約レポート

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。